



陸軍歩兵中尉從七位少岸武四郎
特旨ヲ以テ位一級被進
從七位少岸武四郎

敍正七位

右謹テ奏ス

明治廿八年九月二十九日

内

閣

内閣總理大臣侯爵伊藤博文

陸軍部 九月廿九日 出

明治廿八年九月廿九日

内閣書記官

自

内閣總理大臣 於
内閣書記官長

陸軍少兵中尉岸武四郎ハ勤勞不少
者ハ目下病者ニ爲馬、越然ハ本人儀
在職ハ六年未滿ニ以得共戰役ニ於テ克ク職
務ヲ盡シ其戰功顯著者ニ有之依テ按テ
本年七月中海軍少尉相本豊太郎病者
者爲、節同人在職日尙淺ト雖氏日清

内閣

戰多、於テ功勞有之、故以テ殊ニ
位階陞叙、例モ有之、右岸武四郎
特別、御詮議ヲ以テ陸軍大臣奏
請、通位一級進ヨラレ然ハ

陸軍歩兵中尉從七位岸武四郎
 右任官以來軍務ニ從事シ勤勞不少者ニ
 有之候処目下病氣危篤殆ント快復之目
 途無之然ルニ本人儀ハ在戡六年未滿者ニ
 依湯共戰役ニ於テ克ク戡務ヲ及ニ具戰功顯
 著タル者ニ付特旨ヲ以テ位一階進ナラレ正七
 位ニ叙セラレ度
 謹テ奏ス

明治

八年九月九日

陸軍大臣侯爵大山 出廠



陸軍省

陸三二二二子

陸軍省

別紙陸軍歩兵中尉岸武四郎特旨進位

之件ヲ進達ス

明治

八年九月九日

陸軍大臣侯爵大山 崧 殿



内閣總理大臣侯爵伊藤博文 殿

陸軍省